

月次改訂

2018 / 10

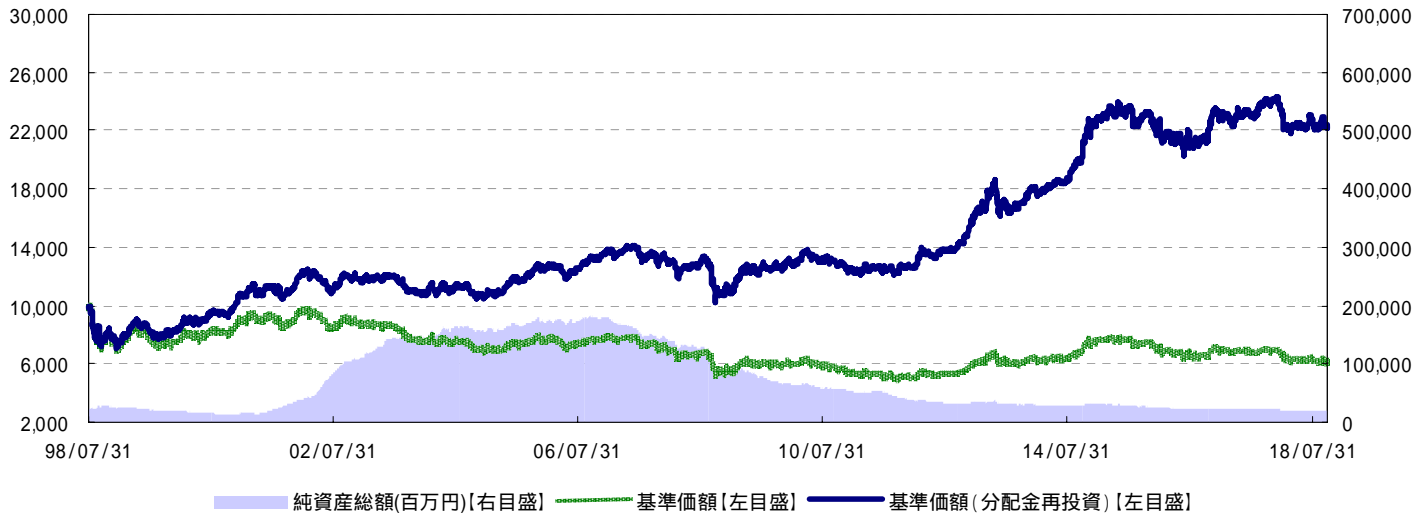
グローバル・エマージング・ボンド・オープン【愛称:受取物語】

追加型投信/海外/債券

特化型

運用状況等

基準価額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日前営業日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・信託報酬率については、後記の「ファンドの費用・税金」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

ファンドの現況

	2018/10/31	前月末	前月末比
基準価額	6,136円	6,312円	-176円
純資産総額(百万円)	17,720	18,312	-592

	基準価額	日付
設定来高値	10,008円	1998/08/03
設定来安値	4,953円	2011/10/11

運用資産構成

	2018/10/31	前月末	前月末比
実質外国債券組入比率	98.89%	99.39%	-0.50%
内 現物	98.89%	99.39%	-0.50%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%
短期金融資産	1.11%	0.61%	0.50%

・比率は純資産総額に対する割合です。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-2.31%	-1.06%	-0.21%	-6.38%	-2.27%	124.47%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

グローバル・エマージング・ボンド・オープン【愛称:受取物語】

分配金実績(税引前)

設定来累計					
9,132 円					
第242期 (18/10/10)	第241期 (18/09/10)	第240期 (18/08/10)	第239期 (18/07/10)	第238期 (18/06/11)	第237期 (18/05/10)
30 円	30 円	30 円	30 円	30 円	30 円
第236期 (18/04/10)	第235期 (18/03/12)	第234期 (18/02/13)	第233期 (18/01/10)	第232期 (17/12/11)	第231期 (17/11/10)
30 円	30 円	30 円	30 円	30 円	30 円
第230期 (17/10/10)	第229期 (17/09/11)	第228期 (17/08/10)	第227期 (17/07/10)	第226期 (17/06/12)	第225期 (17/05/10)
30 円	30 円	30 円	30 円	30 円	30 円
第224期 (17/04/10)	第223期 (17/03/10)	第222期 (17/02/10)	第221期 (17/01/10)	第220期 (16/12/12)	第219期 (16/11/10)
30 円	30 円	30 円	30 円	30 円	30 円
第218期 (16/10/11)	第217期 (16/09/12)	第216期 (16/08/10)	第215期 (16/07/11)	第214期 (16/06/10)	第213期 (16/05/10)
30 円	30 円	30 円	30 円	30 円	30 円
第212期 (16/04/11)	第211期 (16/03/10)	第210期 (16/02/10)	第209期 (16/01/12)	第208期 (15/12/10)	第207期 (15/11/10)
30 円	30 円	30 円	30 円	30 円	30 円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

利回り・デュレーション・平均残存期間

最終利回り	5.28%
直接利回り	5.20%

デュレーション	7.22年
平均残存年数	10.57年

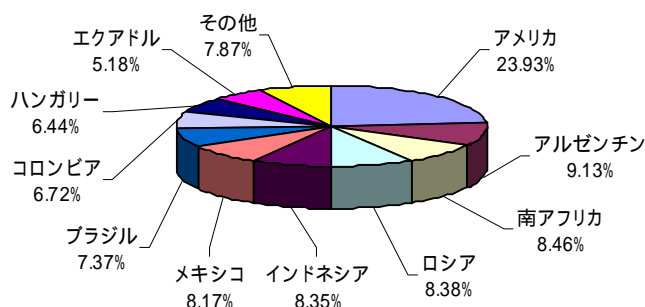
- ・数値は、債券現物部分について計算しています。
- ・最終利回りは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・平均残存年数は、各債券の残存年数を債券の額面で加重平均したものです。

債券の格付分布

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	23.67%	7
AA格	0.00%	0
A格	8.08%	4
BBB格	37.92%	12
BB格以下	29.22%	12
無格付	0.00%	0

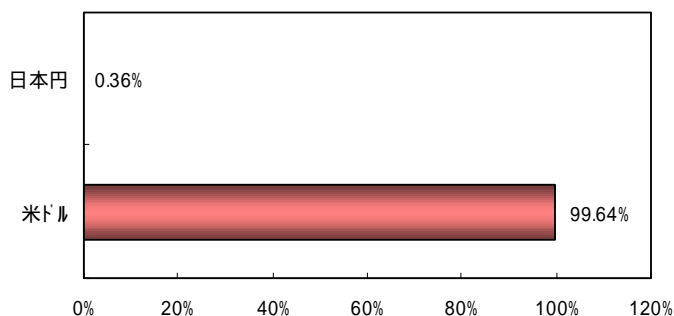
- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付の振分基準は以下の通りです。
 - ・AA格(AA+, AA, AA-, Aa1, Aa2, Aa3)
 - ・A格(A+, A, A-, A1, A2, A3)
 - ・BBB格(BBB+, BBB, BBB-, Baa1, Baa2, Baa3)
 - ・BB格(BB+, BB, BB-, Ba1, Ba2, Ba3)
- ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付(国の発行体格付)を採用しているものがあります。
- ・格付分布は、S & P社、Moody's社のうち最も高い格付を表示しています。

組入上位10カ国



・比率は現物債券評価額に対する割合です。

通貨別組入比率



・比率は[外貨建て純資産 - 為替ヘッジ]で計算しており、通貨別のみ実質比率を表します。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

グローバル・エマージング・ボンド・オープン【愛称:受取物語】

種類別・残存期間別組入比率

	組入比率	残存期間別組入比率					
		1年未満	1～3年	3～5年	5～7年	7～10年	10年超
国債	98.89%	0.00%	5.11%	10.73%	31.61%	30.64%	20.81%
国際機関債・政府機関債	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
その他	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

・比率は純資産総額に対する割合です。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 35銘柄)

	銘柄	種別	クーポン	償還日	国名	比率
1	5.875 INDONESIA 240115	国債	5.875%	2024/01/15	インドネシア	7.53%
2	3 T-BOND 480215	国債	3.000%	2048/02/15	アメリカ	7.27%
3	7.5 ARGENTINA 260422	国債	7.500%	2026/04/22	アルゼンチン	6.89%
4	4.875 RUSSIA 230916	国債	4.875%	2023/09/16	ロシア	5.80%
5	4.25 BRAZIL 250107	国債	4.250%	2025/01/07	ブラジル	5.10%
6	2.875 T-NOTE 231031	国債	2.875%	2023/10/31	アメリカ	4.46%
7	2.75 T-BOND 470815	国債	2.750%	2047/08/15	アメリカ	4.28%
8	5.875 REPUBLIC OF 250916	国債	5.875%	2025/09/16	南アフリカ	4.23%
9	4.85 SOUTH AFRICA 270927	国債	4.850%	2027/09/27	南アフリカ	4.14%
10	8.3 MEXICO 310815	国債	8.300%	2031/08/15	メキシコ	3.62%

・比率は純資産総額に対する割合です。

基準価額騰落要因

(単位:円)

日付	基準価額 (分配落後)	前月末比	為替要因	外国債券	その他 (信託報酬等)	分配金
2017/10	6,933	21	26	34	9	30
2017/11	6,863	70	67	36	9	30
2017/12	6,930	67	58	47	8	30
2018/01	6,586	344	255	49	10	30
2018/02	6,381	205	82	86	7	30
2018/03	6,280	101	67	3	7	30
2018/04	6,330	50	181	93	8	30
2018/05	6,223	107	38	30	9	30
2018/06	6,204	19	104	85	8	30
2018/07	6,293	89	26	101	8	30
2018/08	6,138	155	3	121	7	30
2018/09	6,312	174	138	74	8	30
2018/10	6,136	176	16	122	8	30

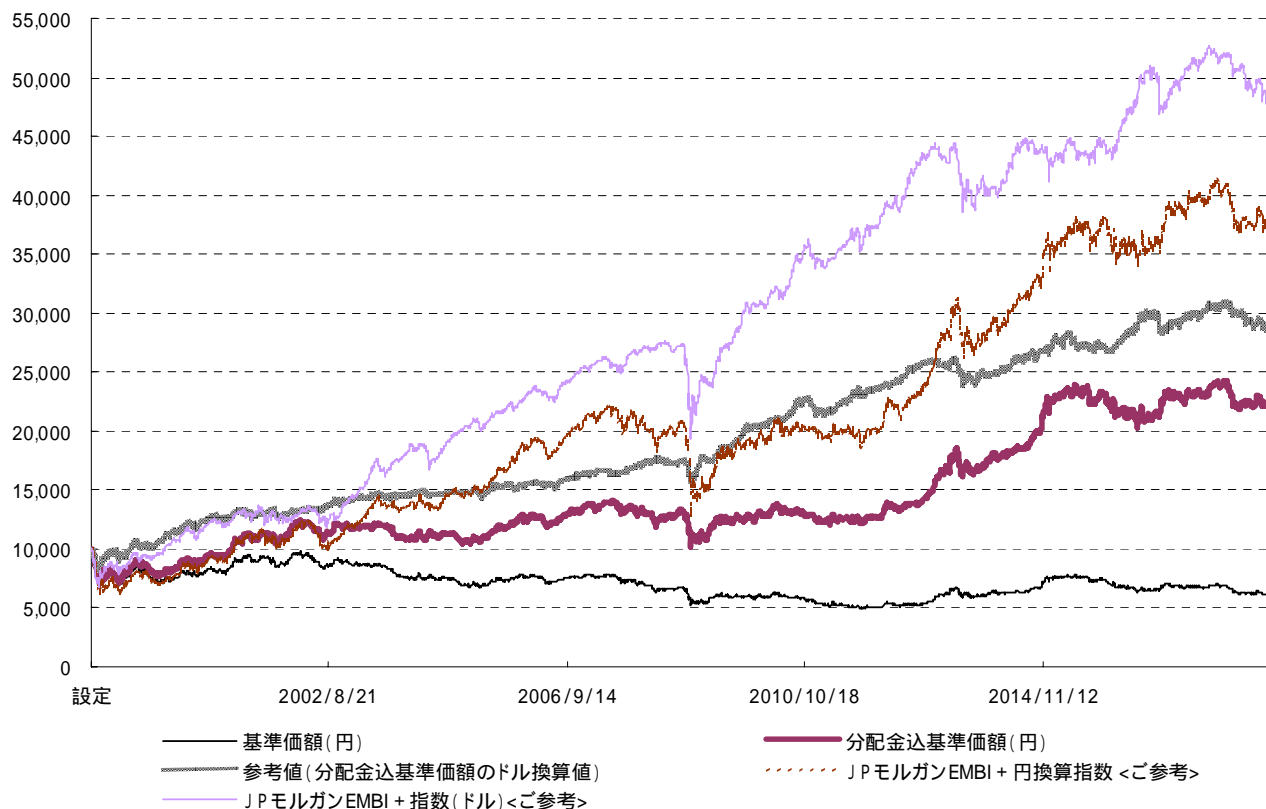
・上表の要因分析は、組入債券の値動き、為替変動の影響等が基準価額に与えた影響をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性等を保証するものではありません。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

グローバル・エマージング・ボンド・オープン【愛称:受取物語】

【参考】設定来の基準価額等の推移



- ・JPMorgan EMBI+ インデックスはエマージング債市場の動向を示す指数です。グラフは投信協会の発表の為替レートを用いて円換算したものを設定時を10,000として指数化しています。
- ・参考値(分配金込基準価額のドル換算値)は、分配金込基準価額を為替評価レートで米ドル換算した価額推移を示したもので、ご参考のための指標であり基準価額とは異なります。
- ・指数<ご参考>は、市況推移の参考として掲載しています。
- ・分配金込基準価額は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

グローバル・エマージング・ボンド・オープン【愛称:受取物語】

運用担当者コメント

今期の投資環境

【新興国(エマージング)債券】

エマージング債券市況は、JPモルガンEMBI+インデックス(米ドルベース)で見ると、前月末比で下落しました。米国債券市場では、一部の米経済指標が堅調な結果であったことや米連邦公開市場委員会(FOMC)議事録を受け、前月末比では米国長期金利は上昇しました。エマージング債券のスプレッド(米国国債に対する上乗せ金利)は、米国金利の上昇や米国株式市況の下落などを背景にリスク回避の動きが強まり、前月末比で拡大しました。

国別では、市場寄りとされるボルソナロ氏がブラジル大統領選挙で事前予想よりも高い支持を得て勝利したことなどが影響し、ブラジルは相対的に堅調に推移しました。メキシコは、次期大統領が新空港建設計画を白紙撤回する方針を示したことなどが影響し、相対的に軟調に推移しました。

【為替市況】

為替市況では、米中貿易摩擦に対する懸念などを背景に米国株式市況が下落し、リスク回避の動きが強まったことなどが影響し、米ドルが円に対して下落しました。

運用の概況と基準価額の推移

運用の概況

米国国債の組み入れを維持しつつ、エマージング債券市場において比較的信用力が高いと思われる国の国債を中心に運用しました。今月は米国国債の組入比率を引き上げました。エマージング債券では南アフリカ、ロシア、インドネシアなどの組入比率を引き下げました。また、デュレーションを短期化しました。

基準価額の推移

今月の基準価額(分配金再投資)は、エマージング債券市況が下落したことや米ドルが対円で下落したことがマイナスに影響し、前月末比で下落しました。

収益分配金

当期の収益分配金は、基準価額や組入債券の利子等収益を勘案し1万口当たり30円とさせていただきます。

今後の運用方針

【エマージング債券市場において比較的信用力が高いと考える国の債券を中心に運用する方針】

グローバル金融市場における流動性引き締めや貿易摩擦の激化などによってリスク回避の動きが強まる可能性に注意が必要であるものの、エマージング債券市場では、複数の国においてここ数年で経済ファンダメンタルズの改善が進んでおり、政策対応がなされていると考えていることから、依然として健全であると見ています。そのため、バリュエーション(投資価値基準)面ではエマージング債券市場は割安になっていると見ており、市場が落ち着きを取り戻すにつれ、回復の動きが進むと考えます。

このような環境下、エマージング債券市場において比較的信用力が高いと考える国の債券を中心に、米国国債も一部組み入れて運用する方針です。一方でバリュエーション面で投資妙味があると判断した債券については、市況動向を見極めながら新規組み入れや組入比率の引き上げを検討します。

当レポートは、運用委託先であるシュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッドの資料に基づいて三菱UFJ国際投信が作成いたしました。

コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。

また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託から分配金が支払われるイメージ

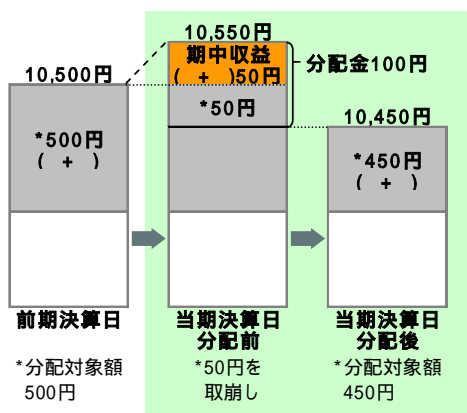


分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

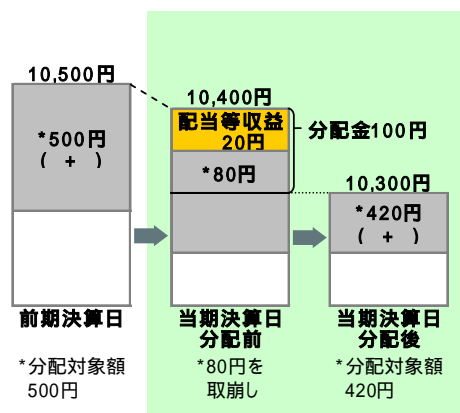
分配対象額は、経費控除後の配当等収益および経費控除後の評価益を含む売買益ならびに分配準備積立金および収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



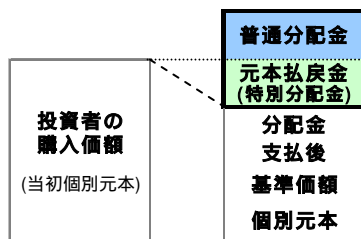
上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金: 当期の経費控除後の配当等収益および経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金: 追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

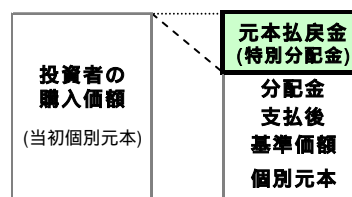
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体例は以下の通りです。販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

[金額を指定して購入する場合]

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

[口数を指定して購入する場合]

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料 = (10,000円 ÷ 1万口) × 100万口 × 手数料率(税込)となり、100万円と購入時手数料の合計額をお支払いいただくこととなります。

グローバル・エマージング・ボンド・オープン【愛称:受取物語】

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

新興経済国等が発行する相対的に高利回りの米ドル建公社債を主要投資対象とし、長期的な高水準の利子等収益の確保と売買益の獲得をめざします。

ファンドの特色

特色1 新興経済国等が発行する相対的に高利回りの米ドル建公社債(エマージング・カントリー公社債)を主要投資対象とし、分散投資を行い、信託財産の長期的な成長を図ります。

・ファンドは特化型運用を行います。一般社団法人投資信託協会は信用リスク集中回避を目的とした投資制限(分散投資規制)を設けており、投資対象に支配的な銘柄(寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い銘柄)が存在し、又は存在することとなる可能性が高いものを、特化型としています。

*寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める比率または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成比率を指します。

特色2 各国のファンダメンタルズ分析とクレジット・リスク分析に基づく銘柄選定を基本とします。

特色3 機動的に米国国債にシフトすることによって、パフォーマンスの安定性を高めることをめざします。

特色4 原則として、為替ヘッジを行いません。

特色5 運用の指図に関する権限は、シュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッドに委託します。

特色6 原則として毎月、収益を分配します。

・毎月10日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。

・分配金額は、委託会社が経費等を控除後の利子等収益等を中心に、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。

・分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動 リスク	一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
為替変動 リスク	組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。
信用 リスク	組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。
流動性 リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。
カントリー・ リスク	新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、価格変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

その他の留意点

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

・投資判断によっては特定の銘柄に集中投資することがあります。その場合、より多くの銘柄に分散投資する投資信託と比べて、上記のリスクの影響が大きくなる可能性があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

グローバル・エマージング・ボンド・オープン【愛称:受取物語】

手続・手数料等

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 / 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 基準価額は1万円当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	1口単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所の休業日 具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象国における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
信託期間	2023年7月10日まで(1998年7月31日設定)
繰上償還	受益権の口数が20億口を下回るようになった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎月10日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎月の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に対して、 上限3.24%(税抜 3%) (販売会社が定めます) (購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.3% をかけた額

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	日々の純資産総額に対して、 年率1.6416%(税抜 年率1.52%) をかけた額
その他の費用・手数料	監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。 上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。

なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufig.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120 - 151034

(受付時間 営業日の9:00 ~ 17:00)

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三井住友信託銀行株式会社

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

販売会社情報一覧表

ファンド名称: グローバル・エマージング・ボンド・オープン

商号	登録番号等	日本証券業 協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
藍澤證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第6号				
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号				
株式会社 SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号				
高木証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第20号				
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号				